

今月の主なニュース

第3回 かながわ健康支援セミナー
かくれ発達障害が増えている
麻布大学 生命・環境科学部 教授 岩橋 和彦

産業保健フォーラム in YOKOHAMA 2019
インフルエンザ感染症と学校での対策について
神奈川県予防医学協会 岡部 英男

「保健室」
箱根町立箱根の森小学校 本多みどり
神奈川県学校・腎疾患管理研究会総会・医師部会 開催

オーラルフレイルの予防・改善
今、食力を考えるシンポジウム

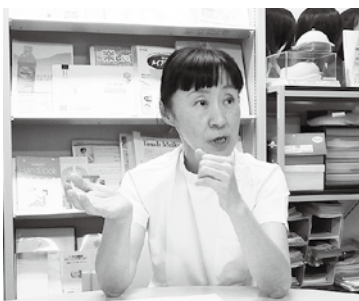
4面 3面 2面



ピンクリボンかながわ代表

土井卓子先生（湘南記念病院 乳がんセンター長）に聞く

正しく知ってほしい 乳がんと乳がん検診



乳がんは女性がかかりやすい悪性疾患の第1位ですが、怖がりすぎず正しい情報を得ることが命を守る第一歩。ピンクリボン月間・10月の活動を振り返りながら、あらためて湘南記念病院乳がんセンター長で、ピンクリボンかながわ代表を務める土井卓子先生（写真）に、自分に合った検診、命を守る最新の治療法、患者支援の取り組みなどについて語っていただいた。

■乳がんの現状
最初、乳がんの罹患
者数の傾向を教えてください
2016年の年間罹患患者
数は約9万5,000人で
増加傾向といえます。ピー
ク期は45歳～50歳ですが、
最近では高齢の罹患者が増
え、その二大原因は長寿と
閉経後の肥満です。20歳代、
30歳代のAYA世代に関し
ては発見率が向上。これは
若い著名人が乳がんを公表
することで健康意識が高ま
り、40歳を待たず検診に行
く人が増えたからだと思います。

■死亡率の変化はいかが
ですか
高齢化に伴い死亡率は増
加しています。昔は若くし
て感染症で命を落とす人が
多く、明治時代の平均寿命
は45歳でした。近年は、医
療の進歩によりがんの発症
リスクが高まる年齢まで生
きられる人が増えたという
社会背景も一因です。しか
し、乳がんの生存率はス
テージ0で100%、ス
テージIは95%と高く、発
見が早期であるほど予後が
良く、乳がんは治る時代に
なっています。

■治療法の進化も生存率
の向上に貢献していますか
そうですね。特に生命予
後を左右する薬物療法の進
化は目覚ましいものがあり
ます。例えば、これまでホ
ルモン受容体陽性乳がん
は、乳がん細胞内のエスト
ロゲン受容体とエストロゲ
ンが結びつくのを阻止し、
がん細胞の増殖を抑制する
抗エストロゲン薬を使っ
ていました。がん細胞の細胞
周期を停止させて増殖を抑
える薬が新たに承認され、
他にも遺伝性乳がんには再
発卵巣がんの維持療法に使
われる薬が適応され、抗エ
ストロゲン薬が効かなくな
った時の選択肢が増えて
います。ですが新薬は高額
で、「患者さんと保険財政
への経済的負担」という課
題を抱えています。

■検診の正しい知識
——検診受診率の現状と、
ベストな検診とは
まず受診率はピンクリボ
ン活動での検診啓発の成果
もあり少しずつ上昇し、2
016年は44・9%に達し
ました。現在日本では、40
歳以上の女性を対象に2年
に一度のマンモグラフィ検
診を推奨しています。ただ
し母、子、姉妹に罹患者が
いる人は発症リスクが2倍
以上になるため40歳以前か

ら検診を受けてください。
また乳腺濃度が高くマンモ
グラフィで腫瘍を見つけた
くいと判断された場合は、
マンモグラフィと超音波の
併用が安心です。自己検診
はしこりの発見に有効です
が死亡率を下げる効果は低
く、自己検診をしているか
ら検診に行かなくていいと
なりません。

■疑陽性や偽陰性、マン
モグラフィによる被ばくを理
由に検診不要論もあがって
いますが、先生のご意見は
確かに検診は万能ではあ
りません。ですが、マンモ
グラフィ検診で乳がんによ
る死亡者数が23%減るとい
うデータがある中、早期発
見に至らなかった数例をク
ロージアアップし、検診不要
論を唱えるのは賛成できま
せん。また、1回のマンモ
グラフィ検査の被ばく量は
3ミリグレイ未満、発がん
には直結しません。

■では、「忙しい・費用
が高い・健康に自信がある」
などの理由で検診に行かな
い人に伝えたいことは
乳がんは早期であるほど
生存率が高く、発見が遅れ
ると命の危険が高まりま
す。そう考えれば多忙で

あっても検診は受けるべき
で、忙しい時ほど自分を大
切に。お金の問題は、病気
になれば検診の数倍費用が
かかります。早期発見であ
れば体とお財布への負担は
軽く、長い目で見れば検診
は節約だと思えます。たと
え今元氣な人も将来病氣
になる可能性はゼロではな
く、健康を過信せず定期的
に検診を受けてください。

■検診以外に乳がんから
命を守る方法がありますか
乳がんリスクを下げる確
証のある一次予防は、大豆
食品の積極的な摂取、定期
的な運動、閉経後の肥満防
止、禁煙です。アルコール
は、摂取量が増えるほど発
症リスクが高まります。ま
た、更年期障害の治療に用
いる長期のホルモン補充療
法は、エストロゲン単独で
は子宮がんの発症リスクを
高めます。エストロゲンとプロ
ゲステロン併用で乳がんの発
症リスクを高める可能性が
あるため、婦人科医に相談し、
実施するなら検診を受けな
がら行ってください。

■治療以外の側面から
患者を支える取り組み
土井先生が行っている
病院は、医師が最善の治
療を提供すれば十分なので
しうか。それだけでは患
者さんの生活の悩みや思い
に寄り添う支援が足りない
と感じ、当院では下着や
ウィッグのこと、治療と仕
事の両立のことなど何でも
相談できるピアサポーター
や、精神的な支えとなる臨
床心理士のいる環境を整え
ました。そして同じ境遇の
人たちが集り、気持ちを高
め、「生きることが楽しい」
と思える機会が必要と考
え、始めたのが体操教室と
温泉旅行です。旅行はさま
ざまな治療段階の人が集
まり、がんの上手な乗り越
え方をシェアする場。病い
と共に生きる患者さんの痛
みを知るため看護師にも参
加を呼びかけ、互いに学び
合っています。

まずは、ご自身の命と、
この先の人生を守るために
検診を受けましょう。もし
乳房の異変に気づいたら、
怖がらず早めに専門医のも
とで必要な検査を受けてく
ださい。本当に怖いのは今
あるがんを放置すること
です。体の変化に意識を向
けて自分を大切に。

患者支援とその意図とは
病院は、医師が最善の治
療を提供すれば十分なので
しうか。それだけでは患
者さんの生活の悩みや思い
に寄り添う支援が足りない
と感じ、当院では下着や
ウィッグのこと、治療と仕
事の両立のことなど何でも
相談できるピアサポーター
や、精神的な支えとなる臨
床心理士のいる環境を整え
ました。そして同じ境遇の
人たちが集り、気持ちを高
め、「生きることが楽しい」
と思える機会が必要と考
え、始めたのが体操教室と
温泉旅行です。旅行はさま
ざまな治療段階の人が集
まり、がんの上手な乗り越
え方をシェアする場。病い
と共に生きる患者さんの痛
みを知るため看護師にも参
加を呼びかけ、互いに学び
合っています。

患者支援とその意図とは
病院は、医師が最善の治
療を提供すれば十分なので
しうか。それだけでは患
者さんの生活の悩みや思い
に寄り添う支援が足りない
と感じ、当院では下着や
ウィッグのこと、治療と仕
事の両立のことなど何でも
相談できるピアサポーター
や、精神的な支えとなる臨
床心理士のいる環境を整え
ました。そして同じ境遇の
人たちが集り、気持ちを高
め、「生きることが楽しい」
と思える機会が必要と考
え、始めたのが体操教室と
温泉旅行です。旅行はさま
ざまな治療段階の人が集
まり、がんの上手な乗り越
え方をシェアする場。病い
と共に生きる患者さんの痛
みを知るため看護師にも参
加を呼びかけ、互いに学び
合っています。

図1 乳がんの年齢階級別推定罹患率(平成26年)

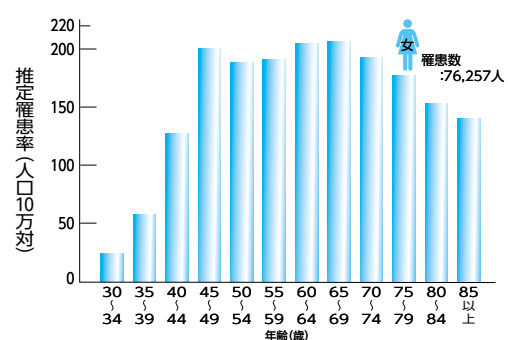
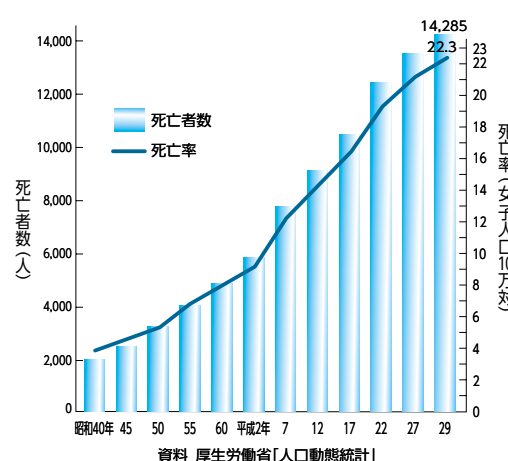


図2 乳がん死亡者数・死亡率の年次推移



かくれ発達障害が増えている ～発達障害に気づかずに大人になった人たち～

第3回かながわ健康支援セミナー



本年度の第3回「かながわ健康支援セミナー」が10月2日に神奈川中小企業センタービルで開催された。精神科において万病の元といわれる発達障害は、思春期を過ぎるとうつやパニック発作、依存症などさまざまな二次障害を発症する。そこで初めて自分は発達障害だったと気づく人も多く、治療が難しいため引きこもりなどになるケースも多い。麻布大学生命・環境科学部臨床検査技術学科の岩橋和彦教授（写真）が、大人の発達障害について対応や支援方法も含めて講演した。産業保健スタッフを中心に78団体95人が参加。

かくれ発達障害の増加

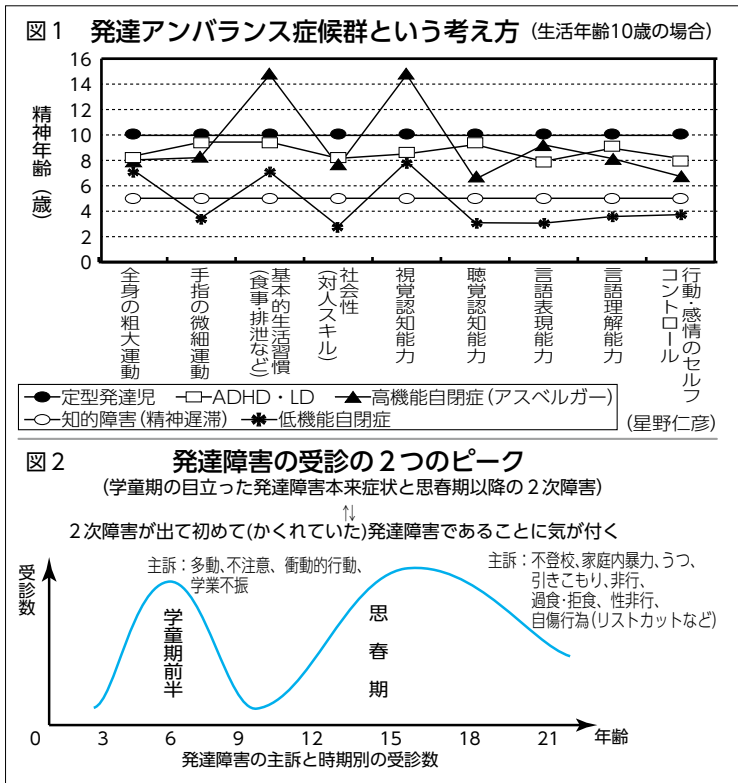
2005年に発達障害者支援法が制定され、2008年には国立大学等の特別支援教育や入試センター試験において別室で受験できる特別措置などによって、日本でも特殊な才能を持つ人を引きこもらせないで活躍させようという風潮や制度が生まれてきている。

軽度も含め日本での発達障害の出現率は10%を超えているといわれ、問題は、思春期以降にうつや依存症、神経症、人格障害などの二次障害を発症しやすい点だ。「素肌」は発達障害で、その上にさまざまな二次障害を「重ね着」する。この治療は難しく、引きこもりなどに移行しやすい。

例えば学歴は高く独創性もあるが、発達障害であることに気づかず、コミュニケーション能力や協調性に欠けるため、社会適応力が低いとみなされて就労できない、あるいはできて長続きしないといった「かくれ発達障害」が増えている。

多種多様な発達障害

ひとことで発達障害といっても症状は個別的で家庭環境などによっても多種多様である。歴史上では政治、経済、科学、文化、スポーツなどあらゆる分野で



意欲如・多動性障害）は、忘れ物が多くぼんやりしている「不注意優勢型」、落ち着きがなくキレやすい「多動・衝動性優勢型」、そして両方をもつ「混合型」に分けられる。子どもの頃にADHDであれば思春期以降も80%が症状を持続するという報告があり、大人ADHDに伴う症状は「集中できない」「思い通りに行動する」「打たれ弱い」「劣等感が強い」「依存症になりやすい」などがある。

発達障害は学童期に目立った症状が出る場合と、思春期以降に不登校、うつ、引きこもり、拒食など二次障害が出て、初めて「かくれ発達障害」であることに気づく場合がある（図2）。精神科において発達障害は万病の元とされ、思春期以降に80%以上が気分障害、40%以上が依存症、さらに不安障害、パニック障害などの神経症を重ね着すること

が多い。またPTSD、人格障害、自傷行為、睡眠障害発症のリスクも高い。これらの症状は、できるだけ早く気づくことが肝心だ。なぜなら受診して病名がわかることで、当人が今まで感じていた生きづらさは、発達障害の影響であつたと理解、納得できるからだ。

うつや引きこもりの治療法

ではその治療法だが、発達障害のうつや引きこもりの治療については、薬だけでは治らないと考えるべきだ。一般的なうつの場合には静養と薬だが、発達障害の二次障害の場合は当てはまらない。基本的には早寝早起き、規則正しい生活が肝心で、生活習慣を正す処方として、例えば朝は精神刺激薬、夕方抗精神病薬、夜に眠くなる抗うつ薬で、昼間は元気に過ごし夜はぐっすり眠るようにする。そして適度に太陽を浴び、身体を動かして汗をかくことも必要だ。

復職のための環境整備

また復職の場合、家庭内のみならず、職場の環境整備も必要だ。例えば上司はほめて伸ばすタイプ、穏やかできつい叱り方をせず、図や表を用いて視覚から訴えるようなわかりやすい教育的指導ができる人が理想だ。また発達障害を受け入れてくれる部署に配置換えし、信用できる同僚に打ち明けて理解してもらうことでストレスを感じずに仕事に復帰することができるとしてほしい。



シンポジウム風景

最後に、精神科の医師として大切にしていることとし「精神科医療とは、科学的な検査データ解析や無機質な情報開示より、患者や家族の話に耳を傾け病気に対する恐れ、将来に対する不安を取り除き、病氣と自分に向き合う勇気を与えることだ」と思う。仏教用語の『施無畏（せむい）』、苦しみを救い無畏を施す。皆さんにこの姿勢と考え方をぜひ理解していただきたい」と岩橋教授は結んだ。

産業保健フォーラム in YOKOHAMA 2019

新しい時代の「産業保健」のあり方



特別講演を行う森先生

10月18日、神奈川健康づくり推進会議による「産業保健フォーラム in YOKOHAMA 2019」が、横浜市開港記念会館で開催された。同会議は、神奈川労働局・労働基準監督署をはじめ、神奈川県、横浜市、神奈川産業保健総合支援センターなどの13の機関・団体が構成されている。当日は産業保健に携わる産業医、看護職をはじめ、事業主、人事労務担当者など約350人が参加した。

今年のテーマは、「新しい時代の『産業保健』のあり方」で、開会式後、同会議は、神奈川労働局・労働基準監督署をはじめ、神奈川県、横浜市、神奈川産業保健総合支援センターなどの13の機関・団体が構成されている。当日は産業保健に携わる産業医、看護職をはじめ、事業主、人事労務担当者など約350人が参加した。

今年の特集は、「新しい時代の『産業保健』のあり方」で、開会式後、同会議は、神奈川労働局・労働基準監督署をはじめ、神奈川県、横浜市、神奈川産業保健総合支援センターなどの13の機関・団体が構成されている。当日は産業保健に携わる産業医、看護職をはじめ、事業主、人事労務担当者など約350人が参加した。

特別講演後、東海大学医学部看護科教授の錦戸典子先生が「働き方改革」と今後期待される産業看護職の役割」の基調講演。それを受け、「新しい時代の『産業保健』の課題と対応」のシンポジウムがもたれた。

シンポジウムでは、①ローム（株）横浜テクノロジセンターの「健康経営の取り組み」②オムロンエクスパートリンク（株）の「メンタルヘルス対策」③ストレスチェックによる職場環境改善④松下産業の「中小企業における両立支援」⑤富士通（株）の「チームで取り組む産業保健活動」という4つの事例発表が行われた。事例は、健康経営や病気と仕事の両立支援など、今後、事業場で取り組む課題であり、どれも具体的な内容を含み、大いに参考となる報告であった。

保健室

箱根町立箱根の森小学校
養護教諭

本多みどり

箱根の森小学校は、朝はつづいすの鳴く声が聞こえ、ちょっとだけ見える富士山と絵のような早雲山に見守られ、子どもたちの元気な笑い声と歌声が響く学校です。私の1日のスタート



は、校長先生と昇降口に立ち、子どもたちに「おはようございます。今日はよい天気です。今日

も一緒にがんばろうね」と声を掛けることから始まります。子どもたちも

「おはようございます。今日もがんばります」と元気な返事を返してくれ。しかし、元気な声が戻って来ないこともあり。そんな関係づくりをし

その時は、一緒に悩み、励ましなが保健室で過ごします。やがて元気がハワーが充電されると、教室へ戻って行きます。以前は「未熟な私だからきちんと指導しなければ」と思い込み、厳しい言葉をかけたこともあり

席停止期間は、乳幼児は「発症後5日を経過し、かつ解熱した後3日を経過するまで」。小学生以上は「発症後5日を経過し、かつ解熱した後2日を経過するまで」となっている。学校生活の中では、教室の湿度を保ち、換気を定期的に行い、手洗いやうがい、励行、感染疑い者と健康者が時間的・空間的に接触しないよう生活指導の配慮を徹底することが大切である。

酒井糾先生(北里大学名誉教授)のご逝去
当協会専門委員で、北里大学名誉教授の酒井糾先生が9月10日にご逝去された。83歳。

酒井先生は、昭和37年東京慈恵会医科大学を卒業、41年に米国カリフォルニア州立大学に留学。帰国後、慈恵医大小児科

『25年の軌跡』(平成12年)の中で「私の歩んだ25年はまさしく、学校検尿と共に歩んだ」といえます。しかも、その間は、神奈川県学校・腎疾患管理研究会での活動の中で歩みだった思いです」と語っている。その言葉通り、全国のモデルと称された神奈川県腎疾患管理システムの構築に大きく貢献し、昭和50年の同研究会の発足とその発展にご尽力された。酒井先生のご功績を偲ぶとともに衷心より哀悼の意を表します。

インフルエンザ感染症と学校での対策について

学校子どもたち

今年もインフルエンザ流行の時期となってきた。すでに沖縄や東京では、流行期宣言がなされ、神奈川県内でも学級閉鎖となっている学校も出始めた。そこで、いまだ一度、インフルエンザにおける基礎知識を当協会健康創造室室長・岡部英男が説明する。

インフルエンザは、インフルエンザ・ウイルスを病原体とする急性の呼吸器感染症で、毎年世界中で流行がみられる。わが国の感染症法では5類感染症で学校保健安全法では第2種に相当する。

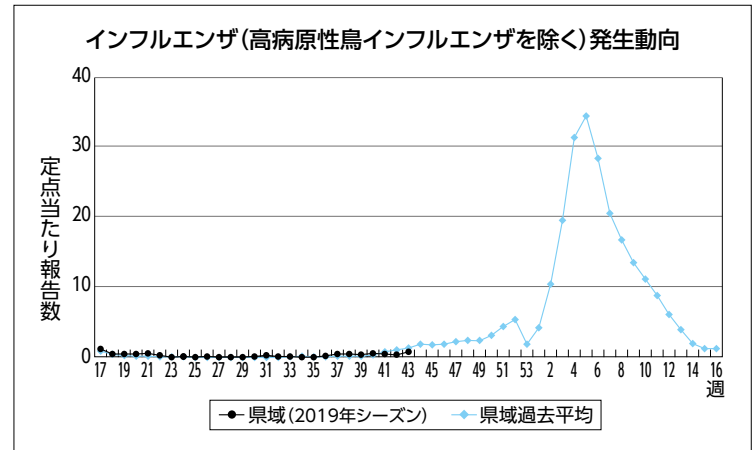
インフルエンザの感染経路は、2つあり、ウイルスを吸い込む「飛沫感染」と、ウイルスに触る「接触感染」である。発症を防ぐには、感染経路を断つことが大切で、「こまめに手洗いをすること」が大事である。

主な症状は、38℃以上の発熱、頭痛、関節痛や筋肉痛などの全身症状。のどの痛み、鼻汁、せきなどの呼吸器症状がこれに続く。通常は1週間前後の経過で軽快する。診断は、ウイルス量に左右される面はあるが、医療機関でA型、B型の迅速診断が可能である。早めの治療は重症化の予防につながる。

治療として、内服薬にはタミフル*、ゾフルザ*。吸入薬には、リレンザ*、イナビル*。点滴薬にはラピアクタ*がある。投薬は、発症から2日以内に投与すると、通常より1〜2日早く解熱する。最近治療に使われているゾフルザによる治療は、1回の経口投与で速やかにウイルス量を減らすことができるが、服用

後の異常行動などにも十分、注意しなければならい。

インフルエンザに罹患し、けいれん、意識不明、顔色が悪い、おう吐や下痢が続く、呼吸困難、息切れ、胸痛の痛みが続く場合、ただちに医療機関を受診すること。重症化すると、脳症、肺炎を併発し、致死的な場合もある。



神奈川県学校・腎疾患管理研究会(会長 新村文男・東海大学小児科准教授)の令和元年度総会・第56回医師部会研究会が9月28日、神奈川中小企業センターで開催された。総会冒頭、新村会長より、同会会長の平成10年から15年までの業務、小児腎臓病予防・治療に尽力された酒井糾・北里大学名誉教授が、9月にご逝去されたことが伝えられ(関連記事参照)、参加者全員で黙祷が捧げられた。その後、平成30年度事業報告案・決算案、令和元年度の事業計画案・予算案が事務局より提案され、それぞれ承認された。

今回の医師部会研究会では、北里大学小児科学主任教授の石倉健司先生(写真)が「留意すべき小児の慢性腎疾患と早期発見のための正確な腎機能評価」と題して講演を行った。石倉先生は日本小児腎臓病学会小児CKD対策委員会の委員長で、厚生労働省研究班と共同で小児CKD(慢性腎臓病)の実態調査や研究に携わっている。

占め、非常に長期にわたる罹患であり、成長発達に影響するなど成人のCKDとはさまざまな面で大きく異なり、独立した概念として捉える必要がある」という。そこで小児CKDを見逃さないために日本小児科学会、日本小児泌尿器科学会、日本小児腎臓病学会の承認を得て、今年8月に『小児慢性腎臓病(小児CKD)の改訂版を発行。同冊子は石倉先生も編集委員として携わっており、参考にも配布された。

Point 1	血清クレアチニンは、年齢によって基準値が異なることを認識しておく
血清クレアチニン中央値のマイルストーン	4歳0.3mg/dL 8歳0.4mg/dL
2歳以上12歳未満の血清クレアチニン予測基準値(mg/dL)	身長(m)×0.3
Point 2	患者の血清クレアチニン値が基準値と比べて目立って高い場合は、腎機能障害を疑う
CKDステージ2基準	4歳0.41mg/dL~ 8歳0.54mg/dL~

石倉先生は小児の腎機能障害を見逃さないために表の2つのポイントに強調。そして①腎機能障害の診断②推算糸球体ろ過量(eGFR)の算出方法③小児CKDの診断とCKDステージ判定について解説を行った。

オーラルフレイルの予防・改善

県歯科医師会

今、食力を考えるシンポジウム

10月10日、神奈川県歯科医師会主催による「今、食力を考えるシンポジウム」食育から健康寿命を伸ばす」が、同歯科医師会館（横浜市中区）で開催された。神奈川県では「食・運動・社会参加」を3本柱として未病改善に取り組んでいるが、そのうち「食」は「栄養とオーラルフレイル」を中心課題として取り組んでいる。超高齢社会を迎え、歯や口の働きの衰えから始まる「オーラルフレイル」の予防・改善は健康寿命の延伸の重要な要素。今回は「オーラルフレイル」と「食力」をキーワードに実施された。

シンポジウムでは3人の講師が登場。まずカムリエ店長の志水香代さんが「口から食べる」幸せとカムリエの取り組み」と題して講演。カムリエは東京都文京区にあるカフェ。介護食対応のケーキや管理栄養士が厳選した食品、使いやすさにこだわった食器や口腔ケア用品も取り扱っている。「噛むことができず流動食や介護食、点滴による栄養補給に頼らざるを得ない方が多くいらっしゃると思います。口から食べられる喜びを共有したいと2013年にオープンしました。カムリエとはウエルカムの「かむ」「噛む」の「かむ」「ワイ」専門家の「ソムリエ」か

横浜中華街・2020春節燈花点灯

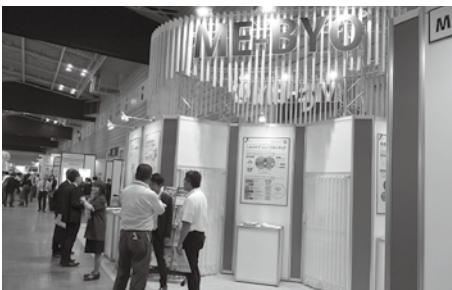
ぶらり神奈川 フォト紀行

この時期、横浜中華街では「春節燈花」として、中華街のテーマカラー「赤」を基調としたLEDやランタン、提灯などで華やかに演出されます。今年のテーマは「五福登門（ごふくとんもん）」人の一生に全ての福が訪れますように」とされ、春節らしいイルミネーションで彩られます。中華街大通りには、メインとなる国内最大級の龍のランタンが登場。関帝廟通りにも、かわいらしいミニ龍たちが中華街の夜空を舞います。来年3月31日までの期間、毎日午後4時から深夜11時までこの街並みが楽しめます。



写真提供：神奈川新聞社

ME-BYO Japan 2019 パシフィコ横浜で開催



県・市町村・アカデミアの未病の取り組みを紹介

アジア最大規模のバイオテクノロジー関連の展示会である「Bio Japan 2019」内スペースに「未病ゾーン」を設置した『ME-BYO Japan 2019』が10月10日から12日の3日間にわたり、パシフィコ横浜で開催された。

超高齢社会の到来により、誰もが健康で長生きできる社会「スマイル100歳社会」に向けた神奈川県内での取り組みを紹介。ロコモティブシンドローム予防、食や生活の観点から研究された「未病改善」サービスや製品、県・市町村・アカデミア（大学や研究機関など）の未病に関する取り組みなど、神奈川県をはじめ約20ブースが設けられ、来場者に未病改善への取り組みや製品の紹介が行われた。

そのほか現在、神奈川県立がんセンターが中心となって行われている個人のDNAと生活習慣の違いによる病気発症メカニズムの研究「神奈川みらい未病コホート」の取り組みをはじめ、健康経営、企業のメンタルヘルスへの対応などをテーマとした無料セミナーも実施。来場者はそれぞれ興味のあるテーマごとに耳を傾けていた。



「かかりつけ歯科医とともにマイ歯科衛生士を持ちましょう」と講演を行った。最後に県歯科医師会常任理事の加藤尊巳先生が「人生100歳時代 生涯にわたっておいしく食べよう！」をテーマに講演。①咀嚼力（噛む力）②嚥下力（飲み込む力）③滑舌の3つの力が弱くなるとオーラルフレイルに陥るといふ。チェック項目として①滑舌の低下②食べこぼし③わずかなむせ④噛めない食品が増える

⑤口の乾燥などをあげ、3つ以上あてはまるとオーラルフレイルのリスクがあるとなる。その測定法として加藤先生は①オーラルフレイルのリスク判定（8項目の質問表）②咀嚼力判定（ガム③滑舌の検査（オーラルディアドコネシス）④舌圧測定を紹介し、参加者も実際に体験。「オーラルフレイルは回復できることが大きな特徴」と話し、改善トレーニングを参加者とともにに行った。

第8回日本タバコフリー学会 喫煙者ゼロの職場を

9月22日、第8回タバコフリー学会学術大会が東京都産業健康保険組合会館ホールで開催された。大会長は同学会副代表理事で東京都予防医学協会保健会館クリニックの金子昌弘所長（写真）。今回のテーマは「喫煙者ゼロの職場を目指そう」。金子大会長は「喫煙室であっても、喫煙者の呼

出煙や残留煙による第三次喫煙など受動喫煙の健康被害はなくすることはできません。職場での受動喫煙をなくするには勤務時間内の禁煙だけでなく、喫煙する職員が1人もない職場を作ることが最も確実に安価な方法です。そこで喫煙者ゼロの職場を実現するためにはどうすればよいか、議論を深めたい」と趣旨を説明した。

大会テーマに沿い、大会長講演2題、教育講演3題、特別講演2題、海外招聘講演、シンポジウムなど多岐にわたって議論がなされた。特別講演では、日本で初めて24時間電話相談事業を立ち上げ、医療サービス事業を手がけるティーベック株の砂原健市社長が「喫煙率0%までの2年9カ月の軌跡」と題して講演。砂原社長は成功のポイントとして①トップからの強力なメッセージ発信②組織全体での取り組み③禁煙成功者の体験談共有をあげ、その取り組みは大いに参考になったという声があがっていた。

小田原医師会で「禁煙宣言」を採択

10月18日、小田原医師会主催による第1回禁煙講演会が、おだわら総合医療福祉会館で開催された。医師や薬剤師、市議会議員、市民など約80人が参加。全国に先駆けて受動喫煙防止条例を制定した前知事の松沢成文参議院議員が「受動喫煙防止への挑戦」と題して講演。受動喫煙防止対策を進めることになったきっかけや、対策を進めた時、たばこ関連業界からの猛反発があったことなど、当時の状況を振り返った。「しかしこの政策に対して県民のサイレントマジョリティは

たって議論がなされた。特別講演では、日本で初めて24時間電話相談事業を立ち上げ、医療サービス事業を手がけるティーベック株の砂原健市社長が「喫煙率0%までの2年9カ月の軌跡」と題して講演。砂原社長は成功のポイントとして①トップからの強力なメッセージ発信②組織全体での取り組み③禁煙成功者の体験談共有をあげ、その取り組みは大いに参考になったという声があがっていた。

個人情報の取り扱いについて

当協会では、本紙を送付している皆様について、送付に必要な情報（氏名・住所・所属など）を送付名簿として保持しております。この個人情報は当協会の個人情報保護方針に基づき、厳重な管理のもとに運用しております。その上で、今後も継続して送付したいと考えております。送付名簿から削除・訂正を希望される場合には、健康創造室企画課（☎045-641-8505）までご連絡ください。



ピンクリボンかながわの今後の予定 健康チャレンジかながわ2019

日時：2019年11月30日（土） 12:00～16:30
場所：クイーンズスクエア横浜1階・クイーンズサークル（西区みなとみらい2丁目）

「健康にいいこと」をテーマにした、毎年の恒例イベント。ピンクリボンかながわは、会場で乳がんの啓発活動のブースを設置し、ご来場の方々に乳がん検診の大切さをお伝えいたします。

お問い合わせは、ピンクリボンかながわ事務局 ☎ 0120-406-561

私を必ず支援してくれると確信があった」という。条例制定後、参議院議員に転進。現在の国会の動向やたばこ産業の構造に触れる内容となった。講演後、小田原医師会の渡邊清治会長から①吸わない人（非喫煙者）の健康を守る②吸う人（喫煙者）の健康を守る③健康問題として環境を整える、という3つを柱とした小田原医師会「禁煙宣言」が行われた。